

「共同開催フォーラム・食中毒のリスクを低下させる科学」開催

2016年11月24日（木）9:30～17:10に「食の安全・安心」に関する研究と教育に関連する5大学の研究センターの共催による「第6回共同開催フォーラム・食中毒のリスクを低下させる科学」が、大阪府立大学-siteなんばで開催されました。このフォーラムは東京大学・食の安全研究センターと神戸大学・食の安全・安心科学センターによって、食の安全・安心に関するリスクコミュニケーションの場として平成23年に第1回フォーラムが開催された後、岩手大学・動物医学食品安全教育研究センター、大阪府立大学・食品安全科学研究センター、そして東北大学・食と農免疫国際教育研究センターが加わり、今回は「感染性食中毒の制御に向けた新たな取り組みの現状と展望」という副題のもと、細菌による感染性食中毒制御のための最先端の研究紹介と、HACCPによる現場の衛生管理の現状と今後について、産・学・官の各領域からの専門家による講演と、それに続くパネルディスカッションが行われました。

講演会終了後、情報交換会が同会場で開かれ、参加者相互の交流が活発になされました。フォーラム修了後は、「さかふね」に会場を移し、講演者、各センター関係者による懇親会が盛況に行われ、来年度の当センター世話役による第7回フォーラムの開催に向け、さらに交流を深めて行くことを誓い合いました。



座長を担当する種村先生



パネルディスカッション



来年度の第7回フォーラム開催に向けて紹介を熱演する種村先生



講演者、各センターの先生方との懇親会